

まずは一步を踏み出そう

第7回アジア冬季大会 2011年1月31日-2月6日 カザフスタン国アルマトイ市

2011年1月に開催される第7回アジア冬季大会にスキーオリエンテーリングが種目として加わった。

2011年1月31日-2月6日
第7回アジア冬季大会
カザフスタン共和国アルマトイ市



Astana - Almaty
7TH ASIAN WINTER GAMES
2011

裁定委員として参加

2011年1月にカザフスタンのアルマトイ市にて第7回アジア冬季大会が開催される。この中の正式種目としてスキーオリエンテーリングが開催される。

だが日本オリンピック委員会はこの新競技に選手派遣しないことを決定している。

アジア2強のうちの1つである日本の不参加はカザフスタンとしてもとても残念だろう。



レオイリビ君のスキーオリエンテーリング
(大会マスコットのユキヒョウ)

だがカザフスタンから日本オリエンテーリング協会に裁定委員とテストランナーとして日本から招待する旨が伝えられた。これに応えるかたちで日本からはスキーオリエンテーリング国内



野沢温泉合宿(2011年1月8-10日) 左から、堀江守弘、黒田幹朗、柴田達真
長野オリンピックで使われたバイアスロンコースで徹底的に滑り込む。
スキーオリエンテーリングの冬はほぼ毎週合宿が行われている。

第一人者の堀江守弘がカザフスタンに飛ぶことになった。

普及の方策

「オリエンテーリング」の普及といってもいろんな形がある。多くの人に知ってもらっただけが普及の形ではない。体育やスキー関係者、そのほか多くのアウトドアスポーツ関係者にその存在を知って、興味を持ってもらうことも普及のひとつの形だろう。

今回のアジア冬季大会への参加を巡って日本オリエンテーリング協会は多くの団体と接触を持った。これはひとつの財産である。

そして初めて行われるアジア冬季大会でのオリエンテーリング。これを視察し、試走し、あらゆる記録を残すことも普及へのプロセスのひとつだろう。

プロセスを楽しむ

冬季アジア大会の視察、そして日本選手団や各国の選手団との交流を目的に、堀江のほかに2名(木村・大里)がカザフスタンに行く。すぐに成果に繋がるものではないが、まずはこうしたプロセスを楽しむことにしたい。

(木村佳司)